

社会資本整備審議会建築分科会 第16回官公庁施設部会 議事概要

1. 平成25年12月12日(木) 11:15~12:15

2. 場 所  
官庁営繕部会議室

3. 出席者  
久保哲夫部会長、浅見泰司委員、坂本雄三臨時委員、佐藤主光専門委員、鈴木博之専門委員

4. 議 題  
(1)官庁営繕事業の新規事業採択時評価について  
(2)最近の官庁営繕行政における主要施策について(報告)  
(3)答申を踏まえた津波対策等の進捗について(報告)

5. 議事概要

- (1) 官庁営繕事業の新規事業採択時評価について、事業評価小委員会からの報告を受け、事務局から説明の上、調査審議を行った。
- (2) 委員から、京都国際会館会議場は、その立地場所に溶け込んだデザインが重要になる旨の意見があり、事務局からデザインの整合性についても、重要な視点として取り組んできたとの説明を行った。
- (3) 審議の結果、議題の事業(京都国際会館展示施設)について、「新規事業化は、妥当である。」との意見を取りまとめた。
- (4) 最近の官庁営繕行政における主要施策について、事務局から報告がなされた。
- (5) 大津波等を想定した官庁施設の機能確保の在り方について(平成25年2月18日 答申)を踏まえた津波対策等の進捗について、事務局から報告がなされた。
- (6) 報告事項に対して委員からは、
  - ・ 災害発生直後の官庁施設の被害状況について、現在の情報収集方法を効率的にするよう検討が必要である。
  - ・ 合同庁舎の津波対策の資料はよくまとまっており、このような資料によって施策の普及、広報に努めるべき。等の意見が出された。

[文責は事務局]